

みんなで育てよう、緑豊かな私たちの森！子ども達に贈る自然いっぱいの森

能ヶ谷西緑地だより

2026年2月1日号 239 号 能ヶ谷西緑地・樹の会

【2月の予定】

◆2月14日（土）（雨天翌日）

・中央広場溝

◆2月28日（土）（雨天翌日）

・南斜面通路整備

* 9:00 現地集合（9:00～11:30）

◆2月7日（土） 10:00～12:00

・やままゆ連・手作りカフェー

平和台集会所

問合せ：伊藤（735-8623）

どなたでも参加自由です。

作業には汚れても良い服装でおいでください。



※※※※※※※

緑地だより

※※※※※※※

1月10日（土） 晴 参加者 9名

明けましておめでとうございます。今年も事故の無いようにと思います。

例年通り、落葉かきからはじめました。花広場にある2カ所の腐葉土置場へ、まわりの落葉を集めて入れるシンプルな作業です。斜面の場合、上の方から熊手で通路に拵けてあるシートに集めて、腐葉土置場へズルズル引っ張っていき、おちばの山を作り、足で踏みつける。斜面を登ったり降りたりと、正月明けの体には良い運動になりました。斜面途中に、淡いピンクのワタ毛をつけたコウヤボウキが冬景色の中で色を添えていました。

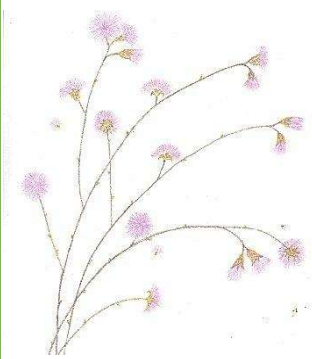
作業終了後、山火災が多発している話になり、私たちも気をつけようと話し合いました。

（伊藤）



コウヤボウキ

【緑地に咲く】コウヤボウキ（高野箒）



冬枯れの緑地で目に留まったのは、淡いピンク色。一見花のように見えるがこれは冠毛。だんだん開いて球状になり、種のついた綿毛が飛び始める。よく見ると枝についている冬芽にも、細かい毛が密生している。9月～10月頃に咲く小さな白い花が楽しみだ。

（上野）

1月24日（土） 晴 参加者 8名

ここ数日の間、日本列島は寒波に襲われているようで、とても寒い朝を迎えました。

今日の緑地作業は桜広場の草刈、竹林の整備でした。細すぎる竹や枯れた竹を切り倒して、小枝を払ってまとめ、林の片隅に綺麗に片付けました。

とてもスッキリして、気持ちが良い竹林になりました。



ウメ

梅の花のつぼみもぷっくらしてきて、白い花びらが見えてきています。開花がとても楽しみです。

作業後のお茶をしながらのおしゃべりも楽しみの一つです。風が出てきたので、念入りに火の始末をして散会になりました。

（長谷部）

『冬芽ファイル帳』

鈴木純 著 小学館



前回に続いて、鈴木純さんの本です。木々は葉を落とし、何もない冬・・・でも、「植物観察は冬が楽しい！」という著者。冬は寒さと乾燥という大敵から、春になったら芽生える芽を守らなくてはなりません。その守り方が木によってもいろいろで、その必死さが私たちから見るとユーモラスな表情に見えたり、美しく見えたりするのです。

著者はそれらの冬芽を、「冬芽界のカオナシ」とか「気分はボクサー」など、楽しく特徴を捉えて伝えてくれます。それに添えられた写真もタイトルそのもので、著者の冬芽への愛情が伝わってきます。なにより、私もこの冬芽を見てみたい！という気持ちになるのです。

取り上げられている木々も比較的身近なものばかりです。緑地でも見られるものもいくつもあります。例えば、「見つけられるかな？」と書かれている、ヤマブキ。20倍に拡大された写真では可愛い顔が見えるのですが、実際には小さすぎてなかなか見つけられません。でも春になればちゃんと芽から黄色く色づいた花の蕾が出てくるし、小さく葉っぱも出始めます。まるで春を喜んで踊っているような、葉っぱの赤ちゃん。えー、こんなに可愛いのか？これは、チェックしなくては！

この本を手引きに、冬の自然と仲良しになりたいと思いました。

(小川)

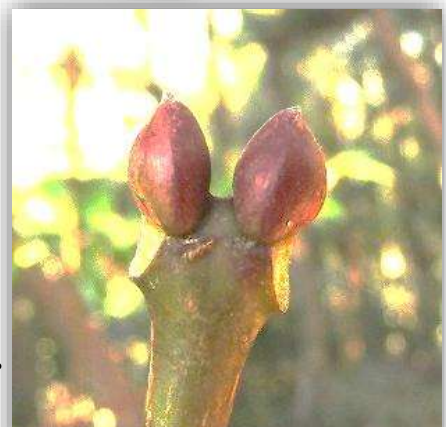
春、待ってるよ～



アジサイ
つやつや帽子をかぶっています。。



ナツツバキ
寄り添い合って、なまめかしいですね。



ゴンズイ
丸い耳二つ、誰の耳？